

希少疾患に対する薬剤管理

松原大祐、前田頼伸*、大和 浩*、竹田克明*、桐林芳江*、江藤精二、
佐藤英治、中村明弘、吉富博則

日本病院薬剤師会雑誌, 41 (10), 1253-56 (2005) Heterocycles,
66, 87-90 (2005)

Medicine Management for Rare Diseases

Daisuke Matsubara, Yorinobu Maeda*, Hiroyuki Yamato*, Yoshiaki Takeda*,
Yoshie Kiribayashi*, Seiji Eto, Eiji Sato, Akihiro Nakamura,
and Hironori Yoshitomi

抄録 中国労災病院における大学院生実務研修を通じ、指導薬剤師とともに治療に関与することができた症例を報告する。症例1では、カルバマゼピンによる薬剤性不整脈の可能性について検討した。カルバマゼピンが徐脈を誘発することに注目できることが焦点であり、1薬剤に対して薬理作用等を細部まで考察し、そのメカニズムから生じることを予測することが重要であると考えられた。症例2では、アナフィラクトイド紫斑の薬物療法を検討した。治療中、ネフローゼ症候群や高血圧等悪化したため、その薬物療法にも目を向ける必要があり、複雑に絡み合う問題点に対して、その時々 of 病態に応じた医薬品を適切に選択することが重要であると考えられた。

* Department of Pharmacy, Chugoku Rosai Hospital

中国労災病院薬剤部